

かわさき アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2025年
5月号

Vol.347



02
特集

もっと楽しく! 展覧会鑑賞ガイド

「浮世絵スター誕生 — 歌麿に葛屋重三郎、英泉・国貞まで —」

CONTENTS[目次]

- 04 音楽 | ミューザ川崎シンフォニーホール
- 07 イベントレビュー／お知らせ
- 08 美術 | 市内ギャラリー情報
- 10 美術 | 川崎浮世絵ギャラリー
- 11 文化 | 東海道かわさき宿交流館
- 12 映画 | 川崎市アートセンター映像館
- 14 演劇 | 川崎市アートセンター小劇場



THE KAWASAKI FOUNDATION



浮世絵スター誕生

— 歌麿に蔦屋重三郎、英泉・国貞まで —

江戸庶民文化の華といわれる浮世絵。「墨摺絵」というモノクロ印刷から始まり、江戸時代中期にはフルカラー印刷の「錦絵」が確立し、江戸名物となりました。そして錦絵誕生から約20年後の天明・寛政期(1781~1801)、歌麿や写楽などスター絵師が次々に登場し、浮世絵界はこれまでにないほどの活況を呈します。

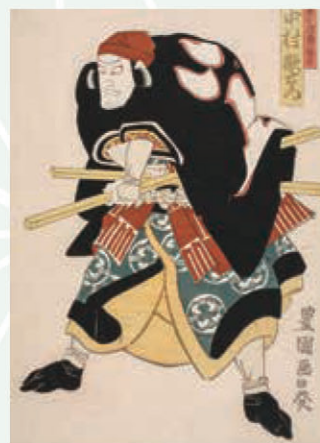
ここでは、川崎浮世絵ギャラリーで開催される「浮世絵スター誕生—歌麿に蔦屋重三郎、英泉・国貞まで—」をもっと楽しむための鑑賞ポイントをご紹介します。

浮世絵流行のヒミツ

「うきよ」の絵 — 憂世から浮世へ —

浮世絵の「うきよ」とは「現世」のこと。古代・中世以来、この世はつらく儚いものと捉えられ、「憂世」の字が当てられてきました。しかし近世に入ると、つかの間の世であるならばいっそ浮き浮きと謳歌してしまおうという現世肯定的な人生観に変わり、「浮世」と表されるようになったのです。これは、江戸時代になって天下泰平の世が訪れたこと、また経済・文化面の中心的な担い手である町人層が現実的・合理的な価値観をしていたことが影響しています。

こうした世情を背景に、この世の移ろいゆく流行を庶民の好みにあわせて描いて流行したのが、17世紀末に誕生した浮世絵でした。



初代歌川豊国
「三代目村歌右衛門の浪花の次郎作」
(後期展示)



江戸の情報誌・浮世絵

江戸発祥の色鮮やかな浮世絵。役者絵は歌舞伎俳優のプロマイド、美人画はグラビアやファッション誌としても機能しました。また、「江戸絵」と呼ばれ、土産物としても喜ばれました。

浮世絵をきっかけに誕生したスターたち

[版元]

つた や じゅうざぶろう (通称「蔦重」)
蔦屋重三郎

吉原生まれ、吉原育ちの稀代の出版プロデューサー。無名だった歌麿や写楽の才能を見抜き、画期的な企画で世に送り出した。



蔦屋重三郎の肖像画
(出典: 国立国会図書館
デジタルコレクション、
展示予定なし)

[浮世絵師]

きた がわうたまろ
喜多川歌麿

美人画の名手。吉原の遊女から名もない町の女性まで描き分けた。

とうしゅうさいしやらく **東洲斎写楽**

約10か月で姿を消した謎の絵師。個性あふれる役者絵を手掛けた。

[水茶屋の看板娘]

なにわ や
難波屋おきた

浅草隨身門脇の水茶屋(茶店)・難波屋の看板娘。歌麿など多くの浮世絵師が描いてさらに人気となり、一目見ようとするお客で店がにぎわったというエピソードも。



初代歌川豊国
「なには屋きた」
(前期展示)



浮世絵の製作から販売まで

はん ちと **版元**

浮世絵の企画、製作、販売を行う

はんした え **浮世絵師**

版下絵(原画)を描く

はん ま **彫師**

版下絵をもとに版木(印刷版)を彫る

ずり し **摺師**

版木を使って色の数だけ紙に摺り重ねる

とん づ **店頭**

版元や小売り専門の絵草紙屋が販売する

コラム その1

蔦重プロデュースの名シリーズ企画

①歌麿の「吉原24時」

歌麿の代表作「青楼十二時」は吉原の遊女の一日を一刻(約2時間)ごとに描き分けたシリーズ。なかにはバックヤードでくつろぐ遊女の姿も描かれています。お客が通常見ることのできない様子も企画として盛り込んでしまおうという発想は、吉原出身の蔦重ならではの発想です。

②写楽の役者大首絵

写楽のデビュー作は歌舞伎役者を半身像で描いた大首絵シリーズで、背景全面にきらきらと光る鉱物性の絵具「雲母」を豪華に使っています。蔦重はこの全28図のシリーズを一挙に出版。新人としては異例の扱いで、当時話題をさらったことでしょう。



喜多川歌麿
「青楼十二時 続 辰ノ刻」
(後期展示)

東洲斎写楽
「八代目森田勘弥の
駕籠昇竜の治郎作」(前期展示)

展覧会情報

2025年4月26日(土)～7月6日(日)

《前期》4月26日(土)～6月1日(日) 《後期》6月7日(土)～7月6日(日)

場所：川崎浮世絵ギャラリー ギャラリー概要はP10をご覧ください。



前期の注目ポイント

歌麿や写楽、彼らのライバルとなった鳥居清長や鳥文斎栄之といった浮世絵黄金期のスター絵師たちの作品を一挙公開。蔦重や西村屋与八など江戸の新進・老舗の版元たちにも注目するほか、浮世絵の製作過程がわかる貴重な版木や肉筆の下絵も展示します。



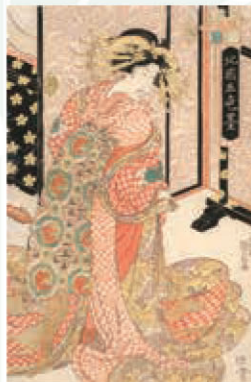
【上】歌川国芳「曾我夜討」の下絵(前期展示)

【右】鳥文斎栄之「てうしや内 ときわづ とよじ とよさ」(前期展示)



後期の注目ポイント

黄金期のその後にフォーカス。江戸時代後期の人気絵師・溪斎英泉と歌川国貞がその頭角を現すようになった文化・文政期(1804～30)の作品や、彼らの師匠である菊川英山、初代歌川豊国の作品を交えて、浮世絵の移り変わりを見ていきます。蔦重からのれん分けされたと言われる版元の蔦屋吉蔵も紹介。



【左】歌川国貞「北国五色墨 花魁」(後期展示)
【右】溪斎英泉「契情道中双録 大津」(後期展示)



コラム その2

蔦屋マークの見極めにチャレンジ!

浮世絵には、それがどの版元から出版されたものなのかを示す版元印というマークが捺されています。蔦重は「富士山型に蔦の葉」のマーク。また、これとよく似た版元印で、富士山と蔦の葉との間に「●」が入ったものもありますが、これは蔦屋吉蔵の版元印です。ぜひ展示会場で見極めにチャレンジしてみてください。

【左】蔦重の版元印 【右】吉蔵の版元印



関連イベント

申込不要・参加費無料(要当日入館券)

◎学芸員による展示解説(①と②の日程で会場が異なります)

【日時】①5月9日(金)、27日(火)、6月8日(日)

②5月22日(木)、6月14日(土)、18日(水)、26日(木)

* 各回14:00～(30分程度)、①は開場13:30

【場所】①アートガーデンかわさき第1展示室

* ギャラリーと同じフロア チケットカウンター向かって左奥

②ギャラリー展示室内 * 展示室内でお待ちください

◎講座「歌麿と蔦屋重三郎

ー浮世絵製作と寛政期の出版統制ー

【日時】5月17日(土) 14:00～15:30 * 開場13:30

【場所】アートガーデンかわさき第1展示室

歌麿は、従来にはないリアルな女性像を打ち出して浮世絵の美人画界に新風を吹き込みました。この講座では歌麿の美人画の特色を、蔦重とタッグを組んで製作した作品、そして寛政の改革の一環として行われた出版統制をポイントにしながら読み解きます。

要事前申込・参加費無料

◎「ウキウキみるみるアートクルーズ@川崎浮世絵ギャラリー」

川崎市と東京藝術大学が連携し、川崎のまち全体をフィールドに「アートコミュニティ」を育むプロジェクト「こと!こと?かわさき」による鑑賞会。浮世絵作品を観て気付いたり感じたりしたことをお話ししながら、じっくり味わいます。

【日時】5月17日(土)、5月18日(日) 10:00～11:30 【定員】各回15名程度 * 定員になり次第締切

【場所】アートガーデンかわさき第1展示室、川崎浮世絵ギャラリー 【対象】小学生、中学生

主催：川崎浮世絵ギャラリー、アートコミュニティ形成プロジェクト「こと!こと?かわさき」

【申込】
こと!こと?
かわさき
HP



お問合せ／川崎浮世絵ギャラリー 電話：044-280-9511(月曜休館／11:00～18:30)

表紙とP2-3の画像は、所蔵先の表記のないものはすべて公益社団法人川崎・砂子の里資料館所蔵

ミューザ川崎シンフォニーホール

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

季節のおすすめ公演ピックアップ

みんなミューザにあつまれ!

こどもの日 オープンハウス

5月5日の「こどもの日オープンハウス」は、ホールの無料開放日♪
コンサートに来たことがある人もない人も、
ホールの中がどうなっているのか、どんな響きがするのか、
まずは体験しに来てみませんか?

5/5(月・祝) 10:00開場 0歳から入場可! 入場無料

※イベントにより、開始・終了時間が異なります。

●オルガンミニコンサート&照明ショー

日本最大級のパイプオルガンの響きを感じてみよう!

【時間】(1回目) 10:30~11:00

(2回目) 13:00~13:30

【曲目】ディズニーメドレー、ラジオ体操第一 ほか

●ホール開放時間

舞台上からホールを見たり、普段は入れない場所も見学できる!

【時間】11:00~12:30(予定)

●手作り楽器&リズムあそびワークショップ

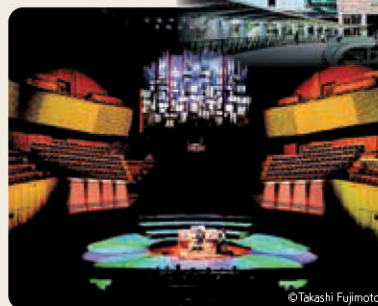
ペットボトルキャップでカスタネットを作って、リズム遊びをしよう!

【時間】10:30~12:00 / 13:00~14:30

※先着順となります

その他 ●パイプオルガン長期レッスン発表会(15:00~15:40)

●スタンプラリー/フォトスポット(10:00~14:30) など!

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団
名曲全集 第207回好評
発売中!

望郷の念に胸を焦がす

プラハの春音楽祭の開幕を飾る不朽の名曲「我が祖国」を、
下野竜也が万感の思いを込めて描きます。

5/17(土) 14:00開演

【出演】指揮：下野竜也 管弦楽：東京交響楽団

【曲目】スメタナ：連作交響詩「我が祖国」

【チケット】S席6,500円 A席5,500円 B席4,500円 C席3,500円

25歳以下当日券：1,000円(要問合せ・要年齢確認)



下野竜也
©Shin Yamagishi

[主催・お問合せ] ミューザ川崎シンフォニーホール (JR川崎駅中央西口直結) TEL.044-520-0200 (10:00~18:00)



フェスタ サマーミュージザ

KAWASAKI 2025

集まれ!
日本の
オーケストラ!

聴こえてくる。
サマーミュージザ。

夏にや祭りを。

7.26土~8.11月・祝

ミュージザ川崎シンフォニーホール



JR「川崎」駅 徒歩3分 チケットのお申込・お問合せ (10:00~18:00) **044-520-0200**

フェスタサマーミュージザ KAWASAKI 2025

- | | |
|--|--------------------------------|
| 7.26(土) 東京交響楽団
オープニングコンサート | 8.5(火) 昭和音楽大学 |
| 7.27(日) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 | 8.6(水) 東京フィルハーモニー交響楽団 |
| 7.29(火) 洗足学園音楽大学 | 8.7(木) 九州交響楽団 |
| 7.30(水) 東京都交響楽団 | 8.8(金) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 |
| 7.31(木) 読売日本交響楽団 | 8.9(土) 日本フィルハーモニー交響楽団 |
| 8.2(土) 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 8.10(日) サマーナイト・ジャズ |
| 8.3(日) 子どもフェスタ 2025
イツ・ア・ピアノワールド | 8.11(月・祝) 東京交響楽団
フィナーレコンサート |
| 8.3(日) 真夏のパツハX | |
| 8.4(月) NHK交響楽団 | |

Web 先行発売 **4.17日**
一般発売 **4.24日**

出張ミュージザ@しんゆり!
会場: 昭和音楽大学テトロ・ジョーロ・ショウ 共催: 昭和音楽大学

8月3日(日) 東京交響楽団
8月9日(土) パシフィックフィルハーモニア東京



3 土祝
11:00開演

モーツァルト・マチネ 第61回

ファゴット&指揮:ソフィー・デルヴォー 管弦楽:東京交響楽団
＜オール・モーツァルト・プログラム＞歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』序曲/ファゴット協奏曲 変ロ長調/交響曲第40番

全席指定¥4,000 U25(小学生〜25歳)¥1,500

お問合せ | MUZA 東響 チケット 友

4 日祝
13:30開演

ポロニア・フィルハーモニー管弦楽団 第10回記念定期演奏会

指揮:田部井 剛
J.S.バッハ=E.エルガー編:幻想曲とフーガ/ブリテン:青少年のための管弦楽入門(パーセルの主題による変奏曲とフーガ)/ブラームス:交響曲第1番

全席指定¥1,000[teket]

お問合せ | ポロニア・フィルハーモニー管弦楽団 広報部 080-5950-7253 チケット

5 月祝
10:00開場

こどもフェスタ2025春 こどもの日オープンハウス

毎年大好評のパイプオルガンミニコンサート&照明ショー、舞台上に上がったり、ステージのうら側を見学したりできる「ホール開放時間」、パイプオルガンの前で写真が撮れるフォトスポットなどをご用意しています。ホールの中をまわってみよう!

入場無料(一部は要事前申込み・有料)

お問合せ | MUZA

6 火振
13:30開演

アウローラ管弦楽団 第33回定期演奏会

指揮:米津俊広
グリエール:序曲『フェルガナの休日』/イッポリトフ=イワーノフ:組曲『コーカサスの風景』第2番『イヴェリア』/リムスキー=コルサコフ:交響組曲『シェラザード』

全席指定¥1,000[teket]

お問合せ | 広報担当:榎根(さがね) masaki@nebula.com

10 土
17:45開演

東京隆生吹奏楽団 第17回定期演奏会

指揮:畠田貴生(当団音楽監督) 客演指揮:中村睦郎 パイプオルガン:大木麻理 ゲスト:東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部
畠田貴生が選ぶ吹奏楽コンクール課題曲特集 Vol.6 三澤 慶:当団委嘱作品/C.T.スミス:ルイ・ブルジョアの賛歌による変奏曲/ハチャトゥリアン:交響曲第3番『シンフォニーボエム』

⑤¥2,500 ④¥2,000 ③¥1,500[teket]

お問合せ | 東京隆生吹奏楽団 定期演奏会実行委員 080-5040-8921

13 火
12:10開演

川崎信用金庫 Presents MUZAランチタイムコンサート 5月 華麗なるヴィルトゥオーゾの世界

パイプオルガン:梅干野安未 ヴァイオリン:正戸里佳
デュプレ:前奏曲とフーガ op. 7-3/ヴィターリ:シャコンヌ ト短調/ショパン(イザイ編):ワルツ 第14番 ホ短調 他

全席指定¥500

お問合せ | MUZA チケット

17 土
14:00開演

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第207回

指揮:下野竜也
スメタナ:連作交響詩『我が祖国』全曲

全席指定 ⑤¥6,500 ④¥5,500 ③¥4,500 ②¥3,500 25歳以下当日券¥1,000(要年齢確認)

お問合せ | MUZA 東響 チケット 友

18 日
14:00開演

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 ミューザ川崎シリーズ第1回

指揮:沼尻竜典 ピアノ:清水和音
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番/ベートーヴェン:交響曲第6番『田園』

⑤¥7,000 ④¥5,000 ③¥3,500 ※65歳以上各席種10%割引

お問合せ | 神奈川フィル・チケットサービス 045-226-5107 チケット

19 月
12:15開演

会場:歓喜の広場 東響ミニコンサート in MUZA 第111回

東京交響楽団メンバー
曲目調整中

入場無料/当日先着受付

お問合せ | MUZA

24 土
13:30開演

青山シンフォニーオーケストラ 第37回定期演奏会

指揮:横島勝人 チェロ:町田正行
モーツァルト:交響曲第25番/エルガー:チェロ協奏曲/ドヴォルジャーク:交響曲第8番

⑤¥2,000 ④¥1,500 ③¥1,000

お問合せ | 青山シンフォニーオーケストラ webmaster@aoyama-symphony.com チケット

25 日
13:15開演

学習院輔仁会音楽部管弦楽団 第64回定期演奏会

指揮:金山隆夫
ロッシェニ:『ウィリアム・テル』序曲/チャイコフスキー:バレエ組曲『眠れる森の美女』/ラフマニノフ:交響曲第2番

全席指定¥1,000[teket]

お問合せ | 学習院輔仁会音楽部管弦楽団(高橋) 080-5687-4372

30 金
19:00開演

ヒルズ・ロード・コーラス 第12回定期演奏会

指揮:大貫浩史 ソプラノ:稲村麻衣子 バリトン:松井永太郎 パイプオルガン:山口綾規
ジェイコブ・ナヴァールド:O SING, MY SOUL!/モートン・ローリゼン:LUX AETERNA/フォーレ:Requiem/ジョン・ラター:Behold, the Tabernacle of God

⑤¥4,000 ④¥3,000 ③¥2,000

お問合せ | ヒルズ・ロード・コーラス事務局 mail@nucky.me チケット

31 土
13:30開演

混声合唱団「羽ばたく会」 第10回定期演奏会

指揮:山口浩史 ソプラノ:田中麻理 アルト:藤井奈生子 テノール:渡邊公威 バリトン:武田直之 オルガン:小島弥寧子 管弦楽:音の輪アンサンブル
《第1部》ボブ・チャップリン編曲:『故郷』日本の歌による5つの合唱曲/《第2部》パイプオルガン演奏(曲未定)/《第3部》ロッシェニ:小荘厳ミサ曲

全席自由¥2,000 学生¥1,000

お問合せ | 混声合唱団「羽ばたく会」 090-3905-8045 チケット

館内での咳エチケット
や適切な手指消毒を
推奨します。

MUZA マークの付いた公演はホール主催または共催です。
ミューザ川崎シンフォニーホール(044-520-0200)までお問合せください。

東響 マークの付いた公演はTOKYO SYMPHONYチケットセンター(044-520-1511)でもご購入いただけます。

チケット マークの付いた公演は、ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンターにてお取り扱いしております。

友 マークの付いた公演は、ホール友の会会員割引がございます(セット券等を除く)。

※2025年3月14日現在の公演情報です。都合により予告なく変更になる場合がございます。最新情報は各主催者へお問合せください。チケット料金は全て税込表記です。

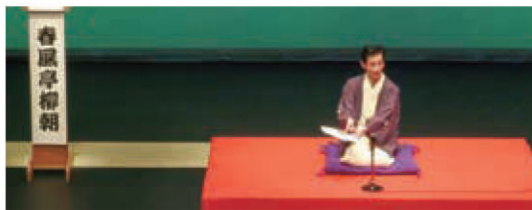
ミューザ川崎
シンフォニーホール公式
サイトはこちらから!
市民交流室でのコンサート等催事
については、HPでご確認ください



第115回しんゆり寄席

(3月8日 川崎市アートセンター小劇場)

こどもも大人もみんなで大笑い!



年5回開催している川崎市アートセンターの定番企画。川崎市在住の世話人・初音家左橋と一玄亭米多朗を中心に毎回ゲストを迎え開催しています。今回のゲストは春風亭柳朝。源平合戦を描いた「源平盛衰記」で客席を沸かせました。トリの一玄亭米多朗は古典落語(旧新作)「ぜんざい公社」を改作した新作落語「ウォーターアイランド」を、初音家左橋は春先にぴったりな古典落語「長屋の花見」、前座の隅田川わたしは粗忽者を主人公にしたオムニバスの演目「堀の内」を高座にかけました。演者からのプレゼントが当たる抽選会では、小学生にサイン色紙が当たりとても喜んでくれました。

【来場者の声より】

- 小学校に落語家さんが来て寄席に興味を持った。とても楽しかった!
(小学4年生)

みんなのかわさき大合奏 ブラスジャンボリー in かわさき

(3月16日 カルッツかわさき大体育室)

総勢250名による一期一会の大合奏



川崎市、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、かわさきジャズ実行委員会が主催する、公募で集まった1日限りのメンバーで市制100周年を祝う大・吹奏楽イベントを開催。冒頭のファンファーレはサプライズゲスト・福田市長の指揮で演奏。その後織田浩司さんの指揮・サクソ演奏や様々なゲストと共に「好きです かわさき 愛の街」や「宝島」など、川崎市ならではの曲から吹奏楽の名曲まで演奏を楽しみました。若手運営サポーターが企画したクイズ大会等もあり盛りだくさんのプログラムとなりました。

【参加者の声より】

- 30年以上ぶりにブラスを味わえてとても嬉しかったです。
- おとなりの方ともお話できて交流することができ、普段できない楽器の話など、貴重なお時間でした。

【来場者の声より】

- 音楽の歓びにあふれていた。観ているだけでも一緒に参加しているようで楽しかった。

第134回川崎市定期能～観世流～

(3月15日 川崎能楽堂)

能楽の魅力を川崎で体感



撮影：前島吉裕

川崎市市制100周年記念第6弾となった今回は、観世流と和泉流狂言の能楽師による公演を開催しました。第1部は我が子と生き別れた曲舞の名手による舞が美しい能「百万」、第2部は月の美しい夜に酒盛りをする慶びに満ちた能「猩々」が上演されました。

また、公演前週に開催した事前講座では、公演に出演する観世流・シテ方能楽師 田邊哲久さん、岡本房雄さんが能の特徴や味わい方を紹介。参加者の皆さんは面や扇を手に取りながら能楽師の方に質問をしたり、謡を謡ったりと、能楽を肌で感じて味わう時間となりました。

【来場者の声より】

- 事前講座を受けていたので、わかりやすかった。(70代)
- 猩々は初めて観ました。豪華な装束で素晴らしく圧倒されました。駅までの帰りにヨドバシ前でブレイクダンスの大会がありました。平安時代の舞と令和の舞、静と動の対比が面白かったです!(50代)

つながる!広がる!パラアート・ミーティング

(3月19日 高津市民館大会議室)

学生やアーティスト、文化施設の職員など22名が参加



パラアート＝「障がいのあるなしに関わらず親しめる芸術文化活動」に関心のある団体・個人の皆さんが集まって情報交換できる交流会を開催しました。

市主催の「音楽ワークショップファシリテーター養成講座」受講生による実演を交えたお話や、対話型鑑賞会の実践についての事例発表を経て、「私のところではこういうやり方をしている」、「障がいのある当事者との意見交換会を開いてほしい」などの意見・情報交換がなされました。休憩中や終了後も参加者同士の積極的な交流があり、新たなつながりが生まれました。

【参加者の声より】

- 事例紹介の2件がとても参考になりました。「当事者」ということを考えなければならぬと改めて感じました。
- 様々な活動をなさっている人がいることを知れて良かったです。ここからまた活動の第一歩を踏み出していきます。

川崎市文化財団
公式noteに
レポートを掲載中。



市内イベント紹介 ※川崎市文化財団後援事業

米寿記念 笠原秋水「書と教育 二刀流展」

笠原秋水 書作と教育/68年の回顧・軌跡展

開催日 令和7年5月14日(水)～18日(日)10時～16時

※ギャラリートーク 17日(土)14時～14時半

会場 新百合トウェンティワンホール ※地図はP15をご覧ください。

料金 入場無料

お問合せ 秋水書道会 主宰 笠原秋水

〒215-0003 川崎市麻生区高石5-27-11

TEL.044-966-3038

主催：秋水書道会

後援：川崎市教育委員会、公益財団法人川崎市文化財団、麻生区文化協会、横浜国立大学墨友会



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・時間・料金等が変更になる場合がございます。最新の情報は必ず各施設へご確認ください。 □ = 休館日
- 各展覧会の展示内容など詳細については、各施設へお問合せください。

2025.5

2025.5		1 Thu	2 Fri	3 Sat	4 Sun	5 Mon	6 Tue	7 Wed	8 Thu	9 Fri	10 Sat	11 Sun	12 Mon	13 Tue	14 Wed	15 Thu	16 Fri	17 Sat	18 Sun	19 Mon	20 Tue	21 Wed	22 Thu	23 Fri	24 Sat	25 Sun	26 Mon	27 Tue	28 Wed	29 Thu	30 Fri	31 Sat					
アートガーデンかわさき(川崎市) 川崎駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室	ウキウキみるみるアートクルーズ @川崎浮世絵ギャラリー 5月17日(土)～18日(日)																																			
	第2展示室	菅野光男 水彩スケッチ画展 4月29日(火・祝)～5月4日(日・祝)					第49回 秀華書展 5月7日(水)～11日(日)					華心会書展 5月14日(水)～18日(日)					第35回JFE陶芸部作品展 5月20日(火)～25日(日)					白亜会神奈川支部展 (絵画) 5月27日(火)～6月1日(日)															
	第3展示室	京都芸術大学 通信 写真コース有志展 Debut 第1回ひとりよがり展 4月29日(火・祝)～5月4日(日・祝)																																			
川崎浮世絵ギャラリー(川崎市) 川崎駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL. 280-9511 【休館日】月曜日(祝日と重なる場合は翌日)、年末年始、展示替えの期間 ※5月5日(月・祝)・6日(火・祝)開館、7日(水)振替休館 【観覧料】500円(高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料)		有 料 浮世絵スター誕生 ―歌麿に葛屋重三郎、英泉・国貞まで― 会期／4月26日(土)～7月6日(日) 《前期》4月26日(土)～6月1日(日) 《後期》6月7日(土)～7月6日(日)																																			
		展示解説および講座の 詳細はP3					展示解説 5月9日(金)					講座 5月17日(土)					展示解説 5月22日(木)					展示解説 5月27日(火)															
ART SPACE SOW 草(幸区) 幸区下平間144-51 2・3F TEL. 511-2702 【休館日】月曜日・火曜日 ※催事により異なる場合があります		「版」いろいろ6人展 4月23日(水)～5月4日(日・祝) ※28日、29日休館					陶和舎(北園史郎) 陶芸教室作品展 5月28日(水)～6月1日(日)																														
小杉画廊(中原区) 川崎市中原区小杉町3-1501-1-304 セントア武蔵小杉A棟3F TEL. 572-9031 11時～18時(最終日は16時まで) 【休館日】火曜日		三津木陽介 MITSUGI Yosuke Exhibition cmp / drft 5月11日(日)～25日(日) ※13、20日休館																																			
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1、2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		2025年神奈川読売写真クラブ 川崎支部写真展 5月2日(金)～7日(水)					第47回中原市民館サークル祭 (絵画) 5月9日(金)～11日(日)					川崎中原の空襲・戦災を記録する会 第14回中原空襲展(パネル) 5月16日(金)～21日(水) ※19日休館					第22回ひまわり写真クラブ展 5月23日(金)～28日(水)					エレガント・ポーセリン展 (磁器絵付) 5月30日(金)～6月4日(水)															
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		萌の会日本画展 5月2日(金)～7日(水)					四季の会絵画展(水彩画・油絵) 5月9日(金)～14日(水)					年金者組合高津支部作品展 (手芸・工芸・絵画・書・写真・押花等) 水曜絵画サークル作品展 5月23日(金)～28日(水) 5月30日(金)～6月4日(水)																									
川崎市民プラザ(高津区) 川崎市高津区新作1-19-1 TEL. 044-888-3131 【休館日】年末年始ほか		【屋内広場】 鯉のぼり吹き流し展示 4月8日(火)～5月6日(火・振休)																																			
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																			宮前市民サークル連絡会 みやまえJAM 2025(絵画・工芸品等) 5月16日(金)～21日(水) ※19日休館					宮前写真研究会 第31回写真展 5月23日(金)～28日(水)													
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)																															多摩絵画会 水彩、その他展 5月23日(金)～28日(水)						
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 生田緑地内 TEL.900-9898 【休館日】月曜日(5月5日を除く)、 5月7日(水)、8日(木)	常設展	有 料 「オカモト・ア・ラ・モード おしゃれの法則」 4月17日(木)～7月13日(日)																																			
	企画展	有 料 「岡本太郎と太陽の塔 一万国博に賭けたもの」 4月26日(土)～7月6日(日)																																			
		展覧会料金 企画展とのセット料金 一般900円(720円)、高・大学生・65歳以上700円(560)円 ※中学生以下は無料、()内は20名以上の団体料金																																			
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		PhotoClub写光 第15回写真展 5月2日(金)～7日(水)					青泉会書展(書道) 5月9日(金)～14日(水)					イリスの会(絵画) 5月16日(金)～21日(水) ※19日休館					多摩自然写真の会 第34回写真展「多摩丘陵の四季」 5月23日(金)～28日(水)					あさお芸術作品展企画チーム あさお芸術作品展 ～麻生区在住の高齢者の方々の素敵な作品展～ (クロスステッチ・手芸・イラスト・ミニ絵画等) 5月30日(金)～6月1日(日)															
中村正義の美術館(麻生区) 麻生区細山7-2-8 TEL. 953-4936 11時～17時 ※金・土・日曜日と祝日のみ開館し、それ以外の曜日は休館ですので ご注意ください。		有 料 中村正義―風景・人物そして顔―(絵画)※1階にて開催 香取宏幸×中瀬俊介作品展※2階にて開催 3月21日(金)～5月18日(日) 観覧料：一般500円、小中学生200円 ※金・土・日と祝日以外は休館																																			

川崎市市民ミュージアム

当館は市内の他施設やオンライン等で博物館・美術館活動を行っています。

オススメ商品など好評販売中!

市民ミュージアムオンラインショップ

川崎市市民ミュージアム

―誕生をめぐって―

1,500円(税込・送料別途)

昭和63(1988)年11月、博物館・美術館の複合施設として中原区等々に開館した市民ミュージアム(旧ミュージアム)。長年にわたり多くの人々に愛されてきましたが、令和元年東日本台風による被災を受け閉鎖し、解体予定です。現在、多摩区生田緑地での新たなミュージアムの整備に向けて取組を進めています。

本書は2024年に開催した展覧会の関連図書として、旧ミュージアム建設時の図面、被災後の館内写真などを紹介するとともに、建設の経緯や建築においての位置づけなどに関する論考を掲載しています。

ほかにも展覧会図録やオリジナルグッズを多数ご用意しておりますので、ぜひWebサイトをご覧ください。

オンラインショップはこちら

<https://www.kawasaki-museum.jp/shop/>

情報発信中



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram

川崎市岡本太郎美術館(多摩区)

常設展

「オカモト・ア・ラ・モード おしゃれの法則」

2025年4月17日(木)～7月13日(日)

日本の色彩はくすんでいるという発言を繰り返す岡本太郎は、手近な芸術的表現としてファッションについて言及しています。岡本の「おしゃれ」に関する考え方とともに作品を紹介します。

企画展

「岡本太郎と太陽の塔 一万国博に賭けたもの」

2025年4月26日(土)～7月6日(日)

民族学を源泉とし、国内の取材旅行を通して形成された岡本の思想から「太陽の塔」を探るいわば「入門編」の展覧会。彼が取材先で撮影した写真を紹介するほか、「太陽の塔」の制作記録や同時期の作品を通して塔の内外が形作られた過程をたどります。また、国内外の仮面や神像等を展示し、岡本のいう「人間の原点」に迫ります。



さまざまなイベントも開催します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

情報発信中



ホームページ



Facebook



X(旧Twitter)



Instagram



歌麿に葛屋重三郎 浮世絵スター誕生 英泉・国貞まで

会期／4月26日(土)～7月6日(日)

《前期》4月26日(土)～6月1日(日) 《後期》6月7日(土)～7月6日(日)

〔休館日〕毎週月曜 ※5月5日(月・祝)開館

5月7日(水) 振替休館

6月2日(月)～6日(金) 展示替え期間

江戸時代中後期の天明・寛政期(1781～1801)、浮世絵界では歌麿や写楽、彼らのライバルとなった清長や栄之、初代豊国といったスター絵師が次々と誕生し、最も華やかな展開を見せました。

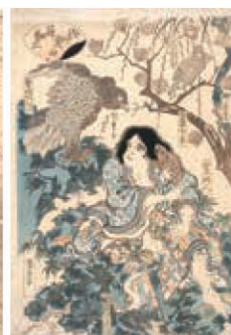
本展では「浮世絵の黄金期」とも呼ばれるこの時代の作品を中心に、前期では歌麿や写楽を見出した葛屋重三郎ら版元たち、後期では文化・文政期(1804～30)から頭角を現した次世代の絵師・英泉、国貞にも注目しながら、江戸で輝いたさまざまなスターたちを紹介します。

【学芸員のイチオシ作品】

本展では、「富嶽三十六景」の大波の図で有名な葛飾北斎と、「東海道五十三次」シリーズで人気を得る歌川広重の初期作品も展示します。のちに浮世絵風景画の巨匠となる二人ですが、絵師として駆け出しだった20～30代の頃の作品には筆致や表現に初々しさが見られます。「浮世絵スターのたまご」たちによる作品にぜひご注目ください。なお、そのほかのおすすめ情報は本誌P2～3の特集ページに掲載しています。あわせてご覧ください。



葛飾北斎「新板浮絵両国蕎麦店涼花火見物之図」(前期展示)



歌川広重「浅草奥山 貝細工」(後期展示)



喜多川歌麿「婦人手業拾二工 髪結」(前期展示)

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク3F TEL.044-280-9511 FAX.044-222-8817 <https://ukiyo-e.gallery/>

【アクセス】JR川崎駅北口東より徒歩2分もしくは中央東口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩2分

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館)、年末年始、展示替えの期間 【開館時間】11:00～18:30(入館は18:15まで)

【観覧料】500円(ただし高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料)、年間パスポート3,000円(購入日から1年間有効)

画像の作品は全て、公益社団法人 川崎・砂子の里資料館所蔵 ©2025 川崎・砂子の里資料館 ※展示内容は変更となる可能性がありますのでご了承ください。

／かわさきのアートのポータルサイト／

ART FOR ALL
KAWASAKI が生まれ
変わりました!

NEW! イベント情報を
投稿できるようになりました!
※事前にユーザーIDの登録・認証が必要です!



<https://kawasaki-city.art/>

市内イベント情報／市内アートのスポット／川崎ゆかりの
アーティスト紹介／インタビュー記事など、盛りだく
さんのコンテンツを楽しめます。
随時情報更新中!あなたの投稿もお待ちしています!

川崎市 市民文化局 市民文化振興室

広告

確かな技術とノウハウで
印刷ニーズに応えます。



八幡印刷株式会社

川崎営業所
川崎市幸区南幸町1-25-3-201
TEL 044-542-2311

東京営業所
東京都品川区西五反田2-9-7-403
TEL 03-3493-4381

<http://www.yahata-p.co.jp>



東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



企画展「川崎が生んだ詩人 佐藤惣之助」

「六甲おろし」の作詞家としても知られる人物

川崎生まれの詩人佐藤惣之助の、詩人、俳人、作詞家のほか、多彩な活動や交流について紹介します。

会期／5月13日(火)～6月29日(日)

会場／東海道かわさき宿交流館3階 料金／無料



第41回街道講演会「東海道57次」の楽しみ方」

江戸と大坂を結ぶ57宿の魅力を語る

東海道57次には歴史的な重要舞台が遺っており、沿線の自然、生活等も伝える学び甲斐ある街道です。資料館も多岐にわたり、一部の散策でも大変有意義な時間を過ごす事ができます。

本講演では、人生100年が一層充実するよう、スライドを中心に街道散策の楽しみ方を紹介します。

日時／5月17日(土) 14:00開演(13:30開場)

講師／志田 威 氏(東海道町民生活歴史館 館主兼館長)

会場／東海道かわさき宿交流館4階 料金／無料 定員／当日先着100名(全自由席)



志田 威

第34回 お昼の落語

巧みな話術と所作で笑いを誘う

誰もが気軽に楽しめる日本の伝統芸能「落語」。

面白おかしい滑稽噺や心温まる人情噺など、幅広い演目をお楽しみください。

日時／5月28日(水) 14:00開演(13:30開場)

出演／二ツ目 桃月庵こはく 前座 柳家ひろ馬

会場／東海道かわさき宿交流館4階 料金／無料(全席自由) 定員／100名

申込方法／往復はがきに、住所・氏名・電話番号・参加人数(はがき1枚につき、2名まで

申込み可)・「落語希望」と明記の上、

〒210-0001 川崎市本町1-8-4 東海道かわさき宿交流館 まで。

締切 5月14日(水) 必着



桃月庵こはく



柳家ひろ馬

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314

<http://www.kawasakishuku.jp/>

【アクセス】京急川崎駅より徒歩約6分、JR川崎駅中央東口から徒歩約10分、北口東から徒歩約10分

【休館日】毎週月曜日。月曜が祝日の場合は、翌平日が休館。



交流館公認
キャラクター
六さん

貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が可能です。

毎月 第3火曜日 2025 ラゾーナ寄席

第151回 5月20日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

■会場／ラゾーナ川崎プラザソル 〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演／三遊亭愛楽・一玄亭米多朗・春雨や晴太・桂伸都

■入場料／全席自由2,000円・25歳以下1,000円

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151

E-mail:info@plazasol.jp <https://www.plazasol.jp/yose/>

当日券も
ございます。
お気軽に
お越しください。



三遊亭愛楽



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

映像館

『白夜 4K』

5/3(土・祝)より上映

1971年 | フランス・イタリア | カラー | ビスタ | 1h23 | DCP

監督・脚本:ロベール・ブレッソン

原作:フォードル・ドストエフスキー

出演:ギヨーム・デ・フォレ、イザベル・ヴェンガルテン、ジャン＝モーリス・モノワイエ

世界の映画作家たちに絶大なる影響を与え続けているフランスの巨匠ロベール・ブレッソンの『白夜』。近年ではフランスでさえ上映不可能であったが、その幻の逸品が、ついに4Kレストアされスクリーンによりみえる。70年代のパリ・セーヌ河岸を舞台に、恋した人を待つ美しい女性と女性に恋した健気な青年のみずみずしい恋の映画。



©1971 Robert Bresson

『カップルズ 4K』

5/3(土・祝)より上映

1996年 | 台湾 | カラー | ビスタ | 2h | DCP | PG12

監督・脚本:エドワード・ヤン

出演:ヴィルジニー・ルドワイヤン、クー・ユルン、チャン・チェン、タン・ツォンシェン

90年代半ばの台北で、お金も自由も愛も望めばなんでも手に入れている4人のギャングたち。ある日フランスからマルトという女性がやってきて、一番新人のギャング、ルンルンはひそかに想いを寄せるように。それから良くも悪くも運命の歯車が動き出してゆく…。エドワード・ヤン〈新台北3部作〉の2作目。



©Kallidoscope Pictures

『シンシン／SING SING』

5/10(土)より上映

2023年 | アメリカ | カラー | ビスタ | 1h47 | DCP

監督:グレッグ・クウェダー

出演:コールマン・ドミンゴ、クラレンス・マクリン、ショーン・サン・ホセ

ニューヨークに実在する最重警備のセキュリティを誇るシンシン刑務所で行われている収監者更生プログラムの＜舞台演劇＞を通して、収監者たちとの友情を描いた感動の実話。キャストのほとんどが元収監者で実際にプログラムを受けていたというユニークな作品。無実の罪で収監された男は演劇プログラムに参加することで希望を見出していたが、刑務所いちの悪党が参加し次の演目を準備することとなり…。



©2023 DIVINE FILM, LLC. All rights reserved.

『104歳、哲代さんのひとり暮らし』

5/10(土)より上映

2024年 | 日本 | カラー | ビスタ | 1h34 | DCP

監督・編集:山本和宏

ナレーション:リリー・フランキー

広島県尾道市に暮らす大正生まれの哲代さん。小学校の教員として働き、退職後は民生委員として地域のために尽くしてきた。83歳で夫を見送ってからは、姪や近所の人たちと助けあい、笑いあいながら過ごしている。そんな哲代さんの101歳から104歳までの日々を見つめたドキュメンタリー。地元紙やテレビで“人生100年時代のモデル”とも称される哲代さんの自由でしなやかな暮らしとは。



©「104歳、哲代さんのひとり暮らし」製作委員会

川崎市アートセンターの公式Instagramを開いたしました！
是非フォローをお願いいたします！

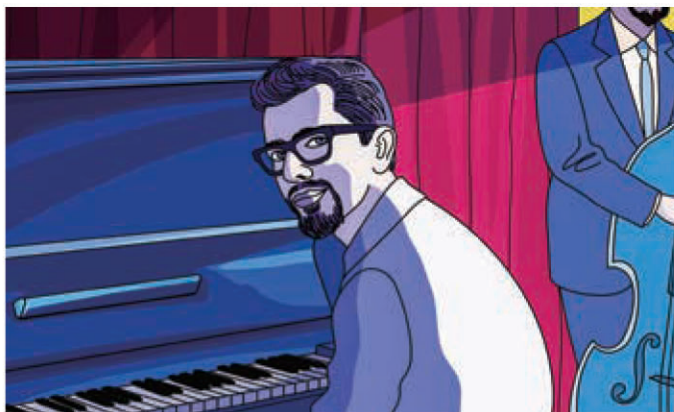


©KAWASAKI ARTCENTER

『ボサノヴァ ～撃たれたピアニスト～』 5/10(土)より上映

2023年 | スペイン・仏・蘭・ポルトガル | カラー | シネスコ | 1h43 | DCP
監督:フェルナンド・トルエバ、ハビエル・マリスカル
脚本:フェルナンド・トルエバ
声の出演:ジェフ・ゴールドブラム

1959年、ブラジルのボサノヴァが音楽の歴史を変え、世界中がブラジル音楽を歌い踊り始めた。このムーブメントについて調べるためリオデジャネイロを訪れたジャーナリストは、爆発的なヒットの裏で重要な役割を果たしたあるピアニストの存在を知る。ポップなイラストのタッチとは裏腹にジャーナリストの旅を通して次第に明らかにされるラテンアメリカの不都合な真実を映し出したアニメーション。



©2022 THEY SHOT THE PIANO PLAYER AIE - FERNANDO TRUEBA PRODUCCIONES CINEMATOGRAFICAS, S.A. - JULIAN PIKER & FERMIN SL - LES FILMS D'ICI MEDITERRANEE - SUBMARINE SUBLIME - ANIMANOIRA CAM, LDA - PRODUCCIONES TONDERO SAC. ALL RIGHTS RESERVED.

『JOIKA 美と狂気のバレリーナ』 5/24(土)より上映

2023年 | イギリス・ニュージーランド | カラー | シネスコ | 1h51 | DCP
監督・脚本:ジェームズ・ネイピア・ロバートソン
出演:タリア・ライダー、ダイアン・クルーガー、オレグ・イヴェンコ

15歳の少女は夢と希望を持ってロシアのボリショイ・バレエ団のアカデミーに入学した。そこで待ち受けていたのは想像を絶する厳しいレッスンだった。過激な減量、日々浴びせられる罵詈雑言にライバル同士の蹴落とし合い。精神が疲弊していくなか、それでもプリマを目指すため少女は狂気をまといいく。実際にアメリカ人女性で初めてボリショイ・バレエ団とソリスト契約したバレリーナの実話を基にした映画。



©Joika NZ Limited / Madants Sp. z o.o. 2023 ALL RIGHTS RESERVED.

『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』 5/24(土)より上映

2025年 | 日本 | カラー | ビスタ | 2h07 | DCP
監督・脚本:大九明子
原作:福徳秀介(ジャルジャル)
出演:萩原利久、河合優実、松本穂香、古田新太

冴えない大学生を送る小西はある日の授業終わりにお団子頭の桜田の凛々しい姿に目を奪われた。思い切って声をかけると、拍子抜けするほど偶然が重なり急速に意気投合する。少し生活が楽しくなってきた矢先、運命を変える衝撃の出来事が二人に降りかかる。熱狂的なファンも多いコント職人、ジャルジャルの福徳秀介原作の同名小説を映像化した珠玉のラブストーリー。



©2025「今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は」製作委員会

◆指定席・オンラインチケット販売開始のお知らせ

お客様の利便性向上のため、指定席に変更し、オンライン販売も導入しました。※詳細はホームページ等でご確認ください。



◆通常料金

●一般: 2,000円 ●大学生・専門学校生: 1,000円 ●シニア・会員: 1,300円
●障がい者・付添(1名まで): 1,000円 ●高校生以下: 800円

◆各種割引あり

●毎月1日は映画サービスデー ●水曜日はサービスデー ●パートナー50割

ユースパス 3歳～18歳(高校生)まで100円でパスを発行(1年間有効)
案内 いつでも500円で映画がみられます。

◆アルテリオ・シネマ会員募集中!

いつでもお得なシネマ会員価格でみられます!

●入会金500円 ●年会費1,500円(1年更新制)

●ポイント5つで1作品ご招待!

●同伴者割引: 1名様まで、一般料金2,000円の作品は一律1,500円に割引!
ご入会手続きは受付でのみ承っております。



◆団体鑑賞受付ます!(お問い合わせください)

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL. 044-955-0107 FAX. 044-959-2200 info@kawasaki-ac.jp https://kawasaki-ac.jp/
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分
〈月曜休映(祝日の場合は翌日)〉

やむを得ない事情により、上映スケジュールの一部またはすべてが中止になる可能性がございます。お出かけの際は、当館ホームページ、または直接お電話にてご確認ください。



川崎市アートセンター
kawasaki ART center

小劇場

インクルーシブ・ベビーシアター かぜのうた

ちいさな命がはじめて出会う季節の詩^{うた}

わらべうたからはじまる幸せな時間。オリジナルの歌・影絵などが心の原風景を描き、ちいさな命にそっとよりそう親子で楽しむパフォーマンス。

5月3日(土・祝)～4日(日・祝) 11:00開場・開演

【対象年齢】0歳～28ヶ月

(対象年齢以外入場不可。ただしリラックス公演は要相談)

【リラックス公演】5月3日(土・祝) 14:00開場・開演

配慮が必要なお子さまや障がいをお持ちのお子さまとその保護者の方を対象とした公演。お申込みは劇場へ。

Tel.044-955-0107

【料金】おとなベビーペア2,400円ほか(全席自由)



©山田孝々

総合劇集団俳優館

車のいろは空のいろ

夢の中まで走ってく ほら 車のいろは空のいろ

あまんきみこのロングセラー児童文学が、ふじたあさやの脚本と八代将弥の新演出で舞台化。空いろのタクシーで起こる不思議なファンタジー。“空いろのタクシー”の舞台装置などを見学するバックステージツアーも!

5月6日(火・振休) 14:00開演

【料金】おとなこどもペア4,000円ほか(全席指定) ※推奨年齢:小学生以上

【託児サービス】舞台鑑賞中に、特設ブースにて保育スタッフがお子さんをお預かりします。

詳細やご予約についてはHPをご覧ください。



年間パスポート

人気定番企画を気軽に楽しもう!

年5回開催する「しんゆりジャズスクエア」と「しんゆり寄席」をリーズナブルに楽しめる年間パスポートを、4つの特典つきで期間限定販売。詳細はHPをご覧ください。

【販売期間】4月17日(木)～6月公演開演前まで

【料金】しんゆりジャズスクエア13,500円/しんゆり寄席9,000円



しんゆりジャズスクエア



初音家左橋



一玄事米多朗

[チケット取扱い]

しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)

■WEB <https://kawasaki-ac.jp> ■TEL 044-959-2255(9:00～19:30、毎月の施設点検日のぞく)

■窓 口 9:00～19:30(毎月の施設点検日のぞく)



【アクセス・お問合せ】川崎市アートセンター 〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1

TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200 <https://kawasaki-ac.jp> 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

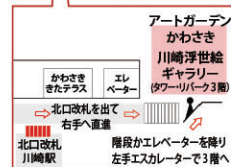




アートガーデンかわさき

貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<https://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>



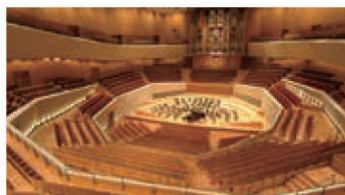
川崎浮世絵ギャラリー～斎藤文夫コレクション～

約6000点の作品の中から川崎や神奈川にゆかりがある作品や、国内外で高い評価を得た作品などを1カ月ごとに展示替えを行いながらご覧いただけます。

TEL.044-280-9511 FAX.044-222-8817
<https://ukiyo-e.gallery/>



〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーリパーク3F
[アクセス] JR川崎駅北口東直結、京急川崎駅より徒歩2分



ミューザ川崎シンフォニーホール

貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
 TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

[アクセス] JR川崎駅中央西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分

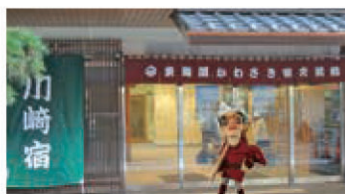
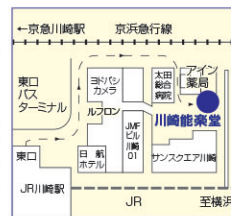


川崎能楽堂

貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
 TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<https://www.kbz.or.jp/facility/noh/>

[アクセス] JR川崎駅中央東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館

貸館案内 4階の集会室は、舞台も備えた多目的な空間です。ふれあいネット（川崎市公共施設利用予約システム）にて利用予約が可能です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
 TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>

[アクセス] 京急川崎駅より徒歩6分、JR川崎駅中央東口もしくは北口東より徒歩10分



ラゾーナ川崎プラザソル

貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
 TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<https://www.plazasol.jp/>

[アクセス] JR川崎駅中央西口より徒歩5分

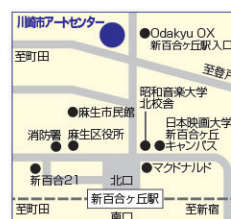


川崎市アートセンター

貸館案内 小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
 TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<https://kawasaki-ac.jp/>

[アクセス] 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

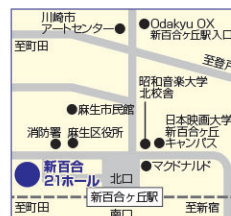


新百合トウェンティワンホール

貸館案内 多目的ホールは講演会や発表会、展示会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。また、会議室や研修室なども用途に応じて、ご利用いただけます。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
 TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<https://shinyuri21hall.jp/>

[アクセス] 小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



見て・触れて・学べる体験型ショー
リアル恐竜ショー

恐竜パーク
きょうりゅう

客席参加型！
撮影OK！
途中入退場OK！

7/24 木 ①13時開演 ②16時開演
大田区民ホール・アプリコ 大ホール

料金 ①4,800円/②4,300円
※3歳以上有料、2歳以下膝上鑑賞無料。但し、座席が必要な場合は有料。

チケット
お申込み ■アプリコ（窓口のみ・現金のみ） ■ひあ ■イープラス ■ローソンチケット
■アソビュー！ ■チケットサンライズ

お問い合わせ サンライズインフォメーション 0570-00-3337（平日12:00～15:00）

公式HPはこちら

好評発売中！

通算50万人を動員！
夏休み家族みんなで楽しめる
リアルな恐竜ショー！

かわさき市民
第32回 アンデパンダン展 作品募集

市内在住・在勤・在学者のアンデパンダン（無審査方式の）公募展〈絵画・書道・写真〉

[募集期間] 4月25日（金）～5月31日（土）
◎詳しくは募集要項をご覧ください。
（区役所・市民館・図書館で4月下旬配布予定）

[お問合せ先] (公財)川崎市文化財団
TEL. 044-272-7366
川崎市文化財団HPからも申し込みます。
[URL] <https://www.kbz.or.jp/event/ind-20250624/>

[開催期間] 6月24日（火）～7月6日（日）※6月30日（月）は休館日
10時～18時（入場終了17時30分）※最終日は15時まで

[会場] アートガーデンかわさき

主催/川崎市民美術協議会・公益財団法人川崎市文化財団
共催/川崎市教育委員会（予定）
後援/川崎市（予定）

過去の出品者の声

- 初めて参加させていただきましたがとても楽しかったです。「アンデパンダン」という方針に勇気づけられ、超初心者なのに参加してみました。（50代）
- 講評が聞けてよかったです。これからの作品作りに生かしていきます。（20代）

かわさき市民アンデパンダン展とは…

川崎市で40年以上にわたって開催されている公募制の総合美術展です。出品作品に入選・入賞などの優劣をつけない無審査方式で行われており、市民の自由な創作発表の場として愛されています。

最終日には講評会が行われ、出品者一人一人がプロの講師による講評やアドバイスを受けられるなど、出品者や美術愛好家の交流の場となっています。

